

糸の造形 奥深く

小林正和さん特別展開幕

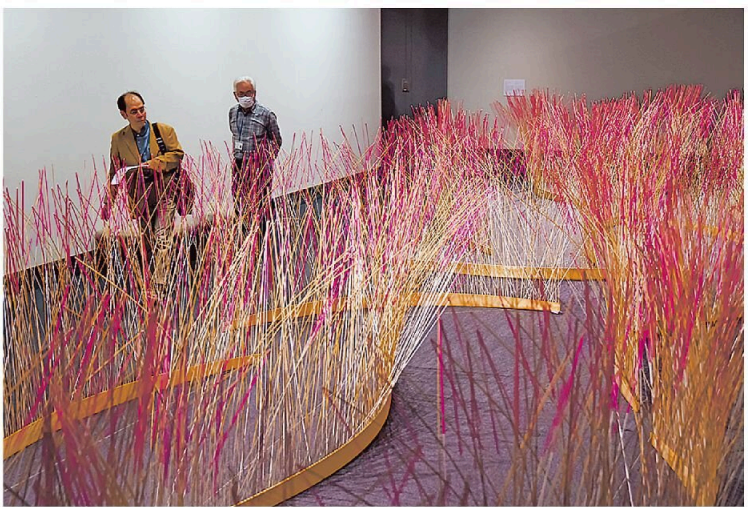
立館
岡山
美術

日本のファイバーアート、その向生まれ、地元の老舗織
ト（繊維造形）の第こころへ」が19日、岡山物会社への就職をきつ
一人者として活躍し、市北区天神町の県立美 かけに、糸を素材にし
岡山県立大教授を務め 術館で始まった。平面 た創作の道へ。国内外
た小林正和さん（19 から立体、空間へと糸 の公募展で高く評価さ
44〜2004年）の が織りなす多彩なアール、県立大などで後進
生誕80年、没後20年を トが訪れたファンらを の指導にも当たった。
記念した特別展「小林 魅了している。

正和とその時代ーファ

小林さんは京都市に

会場では、竹ひごに
張ったカラフルな糸が
風に揺れる稲穂を思わ
せる「KAZAOTO」、
天井から流れ落
ちる水をイメージした
「MIZUOTO」と
いった代表作に同時代
の作家の作品などを加
えた約90点を展覧。奈
良市から訪れた瀬戸邦
子さん（87）は「こんな
に自由で奥深い表現が
きるんですね」と目を
見張っていた。



糸を使った独創的な小林作品に見入る入場者
(今中雄樹撮影)

山陽新聞社共催。5
月26日まで。4月29日
と5月6日を除く月曜
と7日休館。

(小若菜美)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。

さんデジに
動画